

京都烏丸

面影展

面影とは、顔につけるかぶり物で、
人や神、動物などの顔にかたどって作ったもの。

参加作家

しんぽうなほこ

柿元

阿空 ♪

田中健一

わふ

かふ

新阿弥

仙一

ワタナベワークス

巳上益実

犬次

ほのるる

and more...

2023年 12月9日(土)

11:00-17:00

12月10日(日)

10:00-16:00

京都市男女共同参画センターウィングス京都ギャラリースペース

〒604-8147 京都市中京区東洞院通六角下る御射山町 262 番地

地下鉄烏丸御池駅(5番出口)または地下鉄四条駅・阪急烏丸駅(20番出口)下車徒歩約5分

一般来館者用の駐車場はありませんので、
電車・バスをご利用ください。

問合せ先 (eventomo@gmail.com)

主催：イヒス





しんぼうなおこ



柿元



阿空♪



田中健一



わふ



かぶ



新阿弥 (いまあみ)



仙一



ワタナベワークス



巳上益実



犬次



ほのるる

〔面形〕とは、顔につけるかぶり物で、人や神や妖怪、動物などの顔にかたどって作ったものです。

私たちは〔面形〕を専門に扱っており、伝統的な能面から現代的で斬新なデザインの仮面まで幅広く展示しています。また、私たちは〔面形〕の意味や象徴性にも注目しています。〔面形〕はオブジェとして鑑賞することもできますが、〔面形〕をかぶることで様々な役割やキャラクターを演じることができます。そのため、〔面形〕は現実とファンタジーを繋ぐ橋とも言えます。私達の作品を通して、〔面形〕の神秘的な世界に触れていただければ幸いです。〔面形〕は手に取り、触れ、かぶることができる、親しみやすいインタラクティブなアートです。どうぞ、どなた様もお気軽にご覧下さい。

"Omotegata" is a type of headwear that is worn on the face, designed to resemble the face of a human, god, monster, animal, and so on. We specialize in "Omotegata" and feature a wide range of traditional Noh masks and modern, innovative designs. In addition, we pay close attention to the meanings and symbolism of "Omotegata". While it can be enjoyed as an art object, "Omotegata" can also be worn to play various roles or characters, serving as a bridge between reality and fantasy. We hope that through our works, you can experience the mystical world of "Omotegata". Easily accessible and interactive, "Omotegata" is an art that can be touched, held and worn. Everyone is welcome to stop by and see it for themselves.

